

## 普及数3000万を突破したBSデジタル放送、

## 本日(12月1日)ハイビジョン新チャンネルがスタートし、新たなステージへ！

### BSデジタル放送、今年10月末、普及数3000万を突破！

2000年12月に放送を開始したBSデジタル放送は、皆様のご支援のおかげで、着実な歩みを続け、今年10月末、普及数(受信可能件数)が約3036万件となり、3000万の大台を突破いたしました。

1000万達成(2005年8月)までは、開局から約4年9カ月の歳月を要しましたが、その後、普及のスピードは加速的に高まり、次の2000万達成(2006年12月上旬)までに約1年3カ月、さらに今回、そのスピードをも上回る約11カ月で、3000万を突破いたしました。

急速な普及の背景には、BSデジタル放送ならではの多彩な番組や高画質・高音質のハイビジョン放送が、視聴者の皆様に広く認知されてきたこと、さらに、3波共用のデジタル放送受信機の低廉化とともに、2006年12月、地上デジタル放送が全国の都道府県で開始され、デジタル放送全体に対する関心がますます高まってきたことなど、放送事業者、受信機メーカー、関係団体のひとかたならぬ努力がありました。

### 「GO! BSデジタル3000万!!!」キャンペーンの実施

今回の3000万突破を記念して、現在、BSデジタル10局では共同で、「GO! BSデジタル3000万!!!」キャンペーンを展開しています。世代を超えて愛されるメディアを目指して、まさにそれを象徴するスターとして“郷ひろみ”さんを起用したキャンペーン・スポットの放送(NHK総合、地上波在京キー局、BS各局)を中心に、Dpa発行の「BSデジタル番組ガイド」やホームページも連動し、年末年始に向けてのBS各局の力作番組をPRしています。

### 本日(12月1日)、3つのハイビジョン新チャンネルがスタートし、新たなステージへ

3000万メディアとなったBSデジタル放送は、12月1日、スター・チャンネルBSが、スター・チャンネルHV(ハイビジョン)として生まれ変わるとともに、新たなBSデジタル放送局として、BS11(イレブン)デジタルとTwellV(トゥエルビ)が開局する運びとなり、さらなる変革拡充の時機を向かえることとなりました。

これにより、BSデジタル放送は、NHKをはじめとして、無料民放7局(BS日本、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジ、BS11デジタル、TwellV)、有料放送2局(WOWOW、スター・チャンネルHV)の計10局の体制となります。

BSデジタル放送のチャンネルラインナップの充実とともに、今後、ますますデジタル放送全体に対する関心が高まるものと期待しています。今後とも、ご支援の程よろしくお願いいたします。

## 【ハイビジョン新チャンネルの概要】

チャンネル名	スター・チャンネル ハイビジョン	有料放送
チャンネル番号	BSデジタル10ch(3桁入力 200ch)	
編成コンセプト	24時間の洋画専門チャンネル	
事業会社	株式会社スター・チャンネル 本社：東京都千代田区 代表取締役社長 渡辺 紘一 TEL 03-5512-5170 www.star-ch.jp	

チャンネル名	BS11(イレブン)デジタル	無料放送
チャンネル番号	BSデジタル11ch(3桁入力 211ch)	
編成コンセプト	大人向けの24時間総合編成	
事業会社	日本BS放送株式会社 本社：東京都千代田区 代表取締役社長 山科 誠 TEL 03-6212-9984 www.bs11.jp	

チャンネル名	Twelve(トゥエルビ)	無料放送
チャンネル番号	BSデジタル12ch(3桁入力 222ch)	
編成コンセプト	「良質・健全・プレミアム感」をキーワードにした24時間総合編成	
事業会社	ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社 本社：東京都渋谷区 代表取締役社長 三輪 圭輔 TEL 03-6715-7430 www.twelv.co.jp	

番組編成等の詳細は、各局ホームページでご覧いただけます。

<お問合せ先> (社)デジタル放送推進協会(Dpa)  
 総務部広報担当 稲本(03-5785-3523)  
 BS普及企画部 井手、茨木(03-5785-3713)